

2023（令和5）年度
第24回『熱処理中堅技術者講習会』のご案内

（一社）日本熱処理技術協会西部支部
共催：西部金属熱処理工業協同組合

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、2000年度（平成12年度）から開催し、大変ご好評をいただいております標記講習会を今年度も下記のとおり開催いたします。本講習会は、過去に基礎講習会を受けてこられた方々などを対象に、もう一歩踏み込んだ、かつ実務的な内容で構成されています。皆さまの多数のお申込みをお待ちしております。

今年度2日目については、2023年11月に横浜で開催される第28回国際熱処理表面処理連盟(IFHTSE)会議について、4名の講演者から当国際会議の内容ならびに関連国際会議についても報告していただき、国際会議の様子を本講習会の受講者にも感じていただきたいと考えております。

完全対面開催となり、WEB配信はございません。

なお、本案内状の内容に係る部署へもご回覧くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 <第1日目> 2023年10月6日（金）13：00～16：45
<第2日目> 2023年12月12日（火）13：00～16：50

2. 開催場所 大阪科学技術センター 4階 405

大阪市西区靱本町1-8-4

地下鉄四つ橋線本町駅下車28号出口 北へ徒歩5分、肥後橋駅下車7号出口 南へ徒歩7分

地下鉄御堂筋線本町駅下車2号出口 西へ徒歩8分 うつぼ公園北東カド

3. 定員 50名

- | | | | |
|-----------------|----------|-----------|------|
| 4. 参加費（1）2日とも参加 | 会員および組合員 | 12,000円 | （税込） |
| | 学生会員 | 3,000円 | （税込） |
| | 非会員、非組合員 | 24,000円 | （税込） |
| （2）どちらかの希望日のみ参加 | 会員および組合員 | 6,000円/日 | （税込） |
| | 非会員、非組合員 | 12,000円/日 | （税込） |

会員とは、正会員（個人） および 維持会員（会社）の社員
組合員とは、組合員（会社） および 賛助会員（会社）の社員

※受付終了後、参加費請求をお送りいたしますので、入金期日までのお振込みをお願いいたします。

[お振込み後の受講料の返金は出来かねますのでご了承ください。]

※非会員の方は、参加申し込みと同時の入会（正会員・維持会員）手続きでも、

会員資格で受講していただけますので、この機会にご検討下さい。

（入会手続きの詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://jsht.or.jp> ）

5. 申込方法 下記申込書にご記入のうえ、E-Mail または FAX でお申し込みください。

6. 申込期日 第1日目のみご参加の方、第1日目・2日目共ご参加の方：9/22（金）までに
第2日目のみご参加の方：11/28（火）までに

7. 参加について

- ・開催日1週間前をめぐりに参加証を郵送いたしますので当日ご持参ください。
- ・会場内マスク着用を推奨しています。

8. プログラム

第1日目 2023年10月6日（金） 開始時間：13：00

時間	テーマ	講師
13：10－14：50	鋼のマルテンサイトの強靱化	京都大学 辻 伸泰 氏
鉄鋼材料において、マルテンサイトは最大の強度（硬さ）を与える組織です。一方、焼き入れたままのマルテンサイトは脆いため、焼き戻し熱処理によって強度と靱性を整えてから実用に供されます。今回の講習では、鋼のマルテンサイトはなぜ硬く、しかし脆いのか、焼き戻し中に材料中で何が生じているのか、そしてマルテンサイトを強靱化するための加工熱処理について講述します。		
15分間 休憩		
15：05－16：45	熱処理に伴う鋼材の状態変化に関するトピック紹介	山陽特殊製鋼株 藤松威史 氏
鋼部品の製造過程で利用される熱処理（焼準、焼鈍）、鋼部品の強度付与のために行う熱処理（焼入焼戻し、各種表面硬化処理等）についての簡単な振り返りと、より実的な熱処理に伴う鋼材の状態変化に関し、亜共析鋼の結晶粒度特性、熱間鍛造後の冷却過程における特異な粒成長現象、亜共析鋼の冷間鍛造－直接浸炭プロセスにおける特徴的なミクロ組織挙動、焼入れ時の熱処理変形に及ぼす鋼材化学成分の影響等に関するトピック紹介を行う。		

第2日目 2023年12月12日（火） 開始時間：13：00

テーマ：表面改質に関する近年の国際動向		
(1) 13：10－14：00	国際会議参加報告(1) －IFHTSE2023の全体報告およびショットピーニングの研究報告を中心として－	大阪産業大学 南部紘一郎 氏
2023年11月に開催される第28回IFHTSE国際会議の参加報告として、全体的な総括および熱処理全体の海外研究動向について報告を行う。研究報告として、同会議にて発表した内容を報告するとともに、ショットピーニングを中心とした表面改質処理における講演者グループの研究や関連内容に関する報告を紹介する。		

<p>(2) 14:00-14:50</p>	<p>国際会議参加報告(2) 一疲労に関する国際会議 FATIGUE2022⁺¹ における表面改質研究報告および表面改質材の疲労研究報告を中心として一</p>	<p>静岡大学 菊池将一 氏</p>
<p>2023年11月に広島で開催される第13回疲労に関する国際会議 (FATIGUE2022⁺¹) の参加報告として、表面改質材の疲労に関する海外研究動向について報告を行う。研究報告として、表面改質材の疲労限度推定に関する講演者グループの研究や関連内容に関する報告を紹介する。</p>		
<p>20分休憩</p>		
<p>(3) 15:10-16:00</p>	<p>国際会議参加報告(3) 一プラズマ窒化・硬質膜コーティングの研究報告を中心として一</p>	<p>関西大学 西本明生 氏</p>
<p>2023年11月に横浜で開催される第28回 IFHTSE 国際会議および2022年9月にオーストリア・ザルツブルクにて開催された第27回 IFHTSE 国際会議の両会議の参加報告を行う。研究報告として、プラズマ窒化を含む窒化処理や DLC コーティングを含む硬質膜コーティングに関する講演者のグループの研究内容の紹介および国際会議の他研究者による関連内容の紹介を行う。</p>		
<p>(4) 16:00~16:50</p>	<p>国際会議参加報告(4) 一超高速浸炭焼入れ機構および実用化に関する研究報告を中心として一</p>	<p>株式会社ジェイテクトサーモシステム 山本亮介 氏</p>
<p>表面硬化処理の一つである浸炭焼入れ分野において、脱炭素社会への適用を見据えた講演者らの研究として超高速浸炭焼入れがある。IFHTSE 国際会議での研究報告として、2023年横浜で開催される第28回での研究報告と2022年ザルツブルクで開催された第27回での研究報告とをあわせて紹介する。さらに、他の研究者によるプロセスや実用化に関する研究や動向について紹介する。</p>		

9. 問い合わせ先 (一社) 日本熱処理技術協会西部支部 事務局 山下
 電話・FAX (自動切換え) 0725-51-2527 E-mail : yamashita@dantai.tri-osaka.jp
 [月~木:10時~15時、金曜日は事務局休みです。]

「 熱処理中堅技術者講習会 」 申込書

宛先：(一社) 日本熱処理技術協会 西部支部

e-mail：yamashita@dantai.tri-osaka.jp

FAX：0725-51-2527

受付No.

○印をお願いします

会員・組合員

非会員・非組合員

会社名		
所在地	〒： 住所：	
連絡ご担当者	お名前： ご所属： e-mail アドレス (必須)： 電話番号：	
参加者お名前	ご参加の回に○印をつけて下さい	
	第1日目 (10/6)	第2日目 (12/12)

参加費	2日参加	円	会員 12,000 (税込) 学生 3,000 (税込) 非会員 24,000 (税込)
	1日参加	円	会員 6,000 (税込) 非会員 12,000 (税込)
合計金額	円		
請求書送付方法	メール添付 (pdf) ・ 郵送 (いずれかに○印をお願いします)		

※各回、1週間～10日前までには参加証をお送りしますので、当日ご持参ください。

参加証が届かない場合は、FAXが受信されていない可能性もありますのでお問い合わせください。